

平成 28 年 11 月 17 日

長岡市教育委員会（定例会）会議録

長岡市教育委員会

1 日 時 平成 28 年 11 月 17 日 (木曜日)

午前 10 時 40 分から午後 0 時まで

2 場 所 教育委員会 会議室

3 出席委員

教育長 高橋 譲 委 員 大橋 岑生 委 員 羽賀 友信
委 員 青柳 由美子 委 員 大久保 真紀

4 職務のため出席した者

教育部長	若月 和浩	子ども未来部長	波多 文子
教育部次長	金澤 俊道	教育総務課長	武樋 正隆
教育施設課長	中村 仁	学務課長	茂田井裕子
学校教育課長	竹内 正浩	子ども家庭課長	大矢 芳彦
保育課長	大野 宏	中央公民館長	水島 幸枝
中央図書館長	金垣 孝二	科学博物館長	小熊 博史
スポーツ振興課長	川上 春雄	学校教育課主幹兼管理指導主事	宮 宏之
学校教育課主幹兼管理指導主事	高橋 和久	学校教育課主幹兼管理指導主事	柳沢 学

5 事務のため出席した者

教育総務課庶務係長 佐藤 裕

6 議事日程

日程	議案番号	案 件
1		会議録署名委員について
2	第 48 号	補正予算の要求について

7 会議の経過

(高橋教育長) これより教育委員会 11 月定例会を開会する。

◇日程第 1 会議録署名委員について

(高橋教育長) 日程第 1 会議録署名委員の指名を行う。会議録署名委員については、会議規則第 19 条第 2 項の規定により、羽賀委員及び大久保委員を指名する。

◇日程第 2 議案第 48 号 補正予算の要求について

(高橋教育長) 日程第 2 議案第 48 号 補正予算の要求について を議題とする。
これについては公表前であるので、非公開が適当ではないか。他の委員の方々はいかがか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(高橋教育長) では、非公開とする。

————— 会議規則第 20 条第 2 項の規定により記録中止 —————

(高橋教育長) 以上をもって、本日の議案の審議は終了する。

(高橋教育長) 次に協議報告事項に入る。協議事項の平成 29 年度新規事業については公表前であるので、非公開が適当ではないか。他の委員の方々はいかがか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(高橋教育長) では、非公開とする。

————— 会議規則第 20 条第 2 項の規定により記録中止 —————

(高橋教育長) 次に報告事項として、平成 28 年度第 2 回長岡市子ども・子育て会

議について 事務局の説明を求める。

(大矢子ども家庭課長) 平成 28 年度第 2 回長岡市子ども・子育て会議を 11 月 11 日にながおか市民防災センターで開催した。子ども・子育てワーキング部会の報告を行った。「子育てあんしんの避難所」について、部会からの提案とそれに対する取組を報告した。次に「企業支援」については、子育て中の母親から集まってもらい、子育てしやすく働きやすい長岡にするためにはどうしたらいいかをテーマとしたワークショップの報告を行った。主に若者が「ライフデザイン」を描いていくために必要な情報について、大学生からも入ってもらったワークショップの報告を行った。報告の後、「ライフデザインを描くために必要な情報について」をテーマとしたグループワークを実施した。グループワークの概要だが、ライフデザインワーキング部会で話し合われた内容を踏まえて、それぞれの立場から広く意見をもらった。グループワークでの検討内容に対して、アドバイザーから長岡らしさを盛り込んでほしいという意見をいただいた。

(高橋教育長) 次に、長岡市スポーツ推進計画（仮称）について 事務局の説明を求める。

(川上スポーツ振興課長) この計画は、スポーツ基本法に基づき、地方自治体が策定する「地方スポーツ推進計画」にあたるものである。本計画は全 3 章で構成され、「第 1 章 計画の基本事項」では、計画策定の趣旨、計画の位置付け、策定方法等について記載している。これまでは現行計画に基づき、「市民が自らスポーツを楽しむ健康で生きがいを感じるまちづくり」を目標に、「する」「育てる」「支える」「観る」の 4 本柱でスポーツ振興に取り組んできた。現行の「長岡市スポーツ振興基本計画」が平成 28 年度末で終了することに伴い、「長岡市総合計画」を上位計画とし、今後 10 年を見越した新たな計画を策定するものである。本日の資料である素案は、市民アンケートを実施し、策定ワーキング部会や策定検討委員会、そして、スポーツ推進審議会において現行計画の検証や新計画の策定方針を審議してできたものである。本定例会での意見、これから開催予定の策定ワーキング部会や策定検討委員会での意見、パブリックコメントによる市民の意見、そして、市議会の意見を踏まえ、平成 29 年 2 月に開催予定のスポーツ推進審議会に諮ったものを最終原案として長岡市及び長岡市教育委員会に答申する予定である。まず、市民アンケ

ートやヒアリングでわかった本市のスポーツを取り巻く現状と課題について説明する。公立小中学校の「1学校1取組」運動の展開により、児童生徒の体力向上に成果を上げているが、スポーツ離れ、特に女子のスポーツ実施率が低く、スポーツをする子としない子の二極化が顕著になってきている。成人にも二極化の傾向が見られ、週1回以上健康のためにスポーツをする人の割合が平成19年度と比較すると約8ポイント上がり43.7%になったが、一方で全くスポーツをしない割合も増えている。市民アンケートの結果をみると、特に働き世代や子育て世代の多忙感が大きな壁になっていることがわかった。気軽にスポーツができる機会作り、この多忙感を乗り越える動機づけが重要になってくる。また、障害者や高齢者のスポーツへの参加を促進する取組も重要な課題である。次に「第2章 基本方針」について説明する。本市が目指すものは、「スポーツを通じて一人ひとりの人生が豊かになるとともに、スポーツの持つ力を地域づくりやまちづくり、地方創生に結び付けていく」ことである。この理念は現行計画と同じものである。現行計画の理念を継承しつつ、スポーツに期待される役割の広がりなどを踏まえ、「スポーツの持つ大きな力をまちづくりに最大限に活かす」を副題とした。次に、本計画の骨組みである施策の体系について説明する。第3章では、第1章で整理した各施策の課題に対しての具体的な取組を記載している。現行計画は「する」「育てる」「支える」「観る」の4本柱で構成しているが、新しい計画の中間年に東京オリンピックが開催されるため、新たに「競う」を施策の柱に追加して5本柱とした。目標1「育てる」スポーツの推進だが、課題として挙げられたスポーツをする子、しない子の二極化の問題に対して、これまでの幼児、親子、スポーツ幼年団、少年団育成の取組を拡充させるとともに、家庭・学校・地域が連携して、子ども達が自分達の関心に合わせてスポーツを親しむことができる土台づくりを進める。目標2「する」スポーツの推進についてだが、青年・成人期にもスポーツをする人、しない人の二極化が見られる中で、市民がスポーツを通じて豊かな人生を実現できるよう、スポーツに参加する機会の充実を図ることや、高齢者や障害者スポーツの推進体制の強化を図っていく。目標3「競う」スポーツの推進であるが、本市から東京オリンピック・パラリンピック出場選手を輩出するための選手育成体制を構築し、終了後もその体制が受け継がれるように取り組むものである。目標4「支える」スポーツの推進であるが、

大事な活動基盤となるコミュニティのスポーツ活動の推進、また、指導者の育成などの人材の育成や施設環境の充実を掲げている。目標5「観る」スポーツの推進であるが、東京オリンピックの事前合宿誘致の取組やアルビレックスBBとの連携による「観る」スポーツの推進とともに、新たな提案として、地域のスポーツ資源を活用した交流人口の拡大やまちの活性化を掲げている。それぞれの施策目標に対して成果指標を設定しており、目標1「育てる」スポーツの推進では、運動やスポーツの1週間の実施時間が60分未満の子どもの割合をゼロにすることを目標としている。特に小中学校女子に運動をしない子の割合が高いので改善に努める。目標2では、週1回以上スポーツをする成人の割合を全国の目標と同じく65%に上げる。目標3では、全国・世界大会出場選手数、目標4では、日体協公認スポーツリーダー資格取得者の1人当たりの人口、目標5では、スポーツに関わりたいと回答する市民の割合を目標としている。中間年に検証を行い、終了前に成果を検証・評価を行いたい。説明は以上である。

(高橋教育長) 質問、意見はないか。

(大橋委員) 1ページに「する」「育てる」「支える」「観る」という順序で4つの柱が書いてあるが、第2章からは「育てる」から説明が始まっている。この4本柱は大事なキーワードであるため、このページでの記載についても最初を「育てる」とした方がいいのではないか。

(川上スポーツ振興課長) 1ページに記載しているキーワードはこれまでの計画における柱立てである。今回の計画では、東京オリンピックもあるので「競う」を追加し、生涯スポーツや競技力向上の土台づくりとなる「育てる」を重要視しているため、「育てる」を最初に持ってきた。

(羽賀委員) 健康という視点は入れないのか。

(川上スポーツ振興課長) 健康寿命の延伸など、健康のための運動は重要だという考えはこの計画の中にあり、具体的な取組に健康づくりのことを書くことを考えている。

(大橋委員) 学校体育と地域スポーツ活動との連携は大変重要である。「学校と地域が連携した環境づくりについて、諸課題の解決に向けた検討を進めます」とあるが、熱中！感動！夢づくり教育などと連携し、この課題解決に向けて取り組んでほ

しい。

(川上スポーツ振興課長) 現段階で具体的な記載はないが、これから関係者と詰めて行きたい。

(高橋教育長) 高校スポーツは長岡が強い。今年の夏の高校野球では、ベスト8のほとんどが長岡の高校であった。バスケットボールやサッカーも長岡の高校が強い。スポーツは高校から始めてすぐに結果が出るようなものではなく、小さい時から地道に続けることで結果が残るものである。そのため、努力が途切れない計画とし、小さな芽がこの計画で花開くようになってほしい。

(高橋教育長) では続いて、平成28年度第1回長岡市文化財保護審議会について事務局に説明を求める。

(小熊科学博物館長) 平成28年度第1回長岡市文化財保護審議会を10月27日にさいわいプラザで開催した。会議の内容だが、正副委員長の選出、そして、指定文化財の候補である与板地域の都野神社の「焼組香奉納額」の概要について報告して、現地でこの額を視察した。約250年前の江戸時代に都野神社で焼組香というお香を楽しむ席が開催された記念に奉納されたものである。俳句や和歌の奉納額は多いが、お香の額は県内では例がなく、全国でも珍しいものである。保存状況もよく、与板地域の町人文化が成熟していたことを示すものであり、指定文化財の候補と考えている。与板地域では、去年から香道を復活し、お香のイベントを開催している。

(高橋教育長) 催し案内はあるか。

(大矢子ども家庭課長) 家庭でワクワクポスターコンクールポスター展示会を開催しており、さいわいプラザでは本日まで、アオーレ西棟では19日から27日まで開催している。

(高橋教育長) 他に質疑、意見はないか。また、報告事項、補足説明はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(高橋教育長) 以上で本日の定例会を閉会する。

会議の次第を記載し、その相違ないことを証するために署名する。

長岡市教育委員会教育長

長岡市教育委員会委員

長岡市教育委員会委員